

**平成29年3月期第1四半期
決算説明資料**

名古屋鉄道株式会社

2016年8月8日

連結損益計算書

() は増減率

(単位：百万円、%)

	当第1四半期	前第1四半期	増減	(対前年同期)
営業収益	142,885	142,424	461 (0.3)	不動産 +1,489 その他 +430 交通 +415 レジャー・サービス △166 運送 △561 流通 △1,080
営業費用	131,858	132,118	△ 259	燃料費 △1,270 人件費 +945
営業利益	11,026	10,306	720 (7.0)	交通 +464 運送 +180 流通 +148 不動産 +39 その他 △6 レジャー・サービス △125
経常利益	12,256	10,530	1,725 (16.4)	営業外収益 +734 営業外費用 △270
特別利益	1,005	706	299	固定資産売却益 +216
特別損失	106	443	△ 336	減損損失 △94
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,560	6,852	1,707 (24.9)	

営業収益 : 不動産事業における分譲マンションの引渡戸数の増加や、
鉄軌道事業における輸送人員の増加などにより増収。

営業利益 : 増収に加え、燃料費の減少などにより増益。

経常利益 : 営業増益に加え、持分法投資利益の増加や、支払利息の減少などにより増益。

親会社株主に帰属する

四半期純利益 : 経常増益に加え、特別損益の改善により増益。

《連結子会社数》 : 124社 (減少 1社) 名鉄タクシーホールディングス (被合併) ※

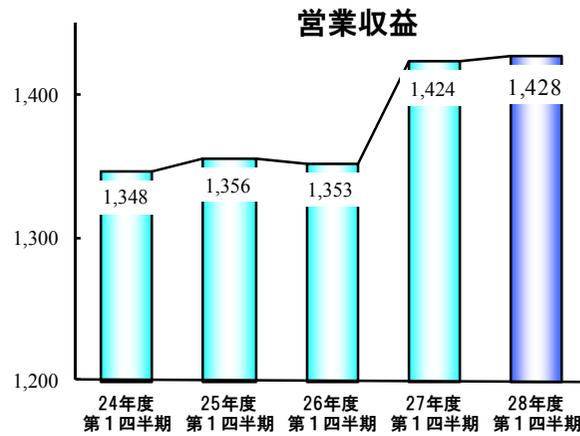
《持分法適用会社数》 : 15社 (増減なし)

※28年4月に名鉄交通が(旧)名鉄タクシーホールディングスを吸収合併した後、
名鉄交通の商号を名鉄タクシーホールディングスへ変更

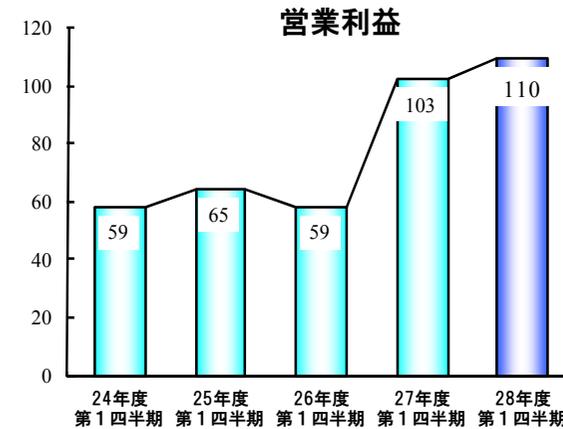


連結業績の推移

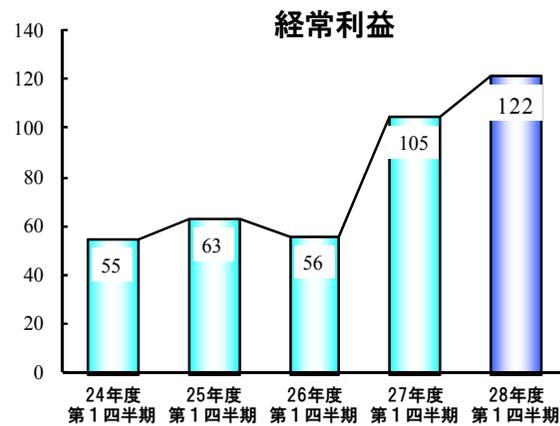
(単位:億円)



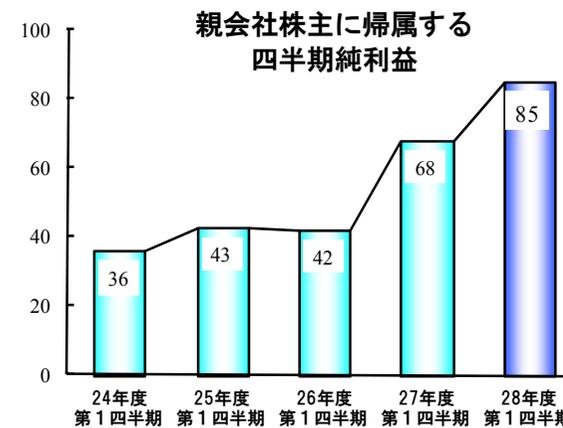
2期連続増収



2期連続増益



2期連続増益



2期連続増益



セグメント別営業成績

(単位：百万円、%)

営業収益	当第1四半期	前第1四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	41,553	41,138	415	1.0	鉄軌道事業における輸送人員の増加などにより増収
運送事業	32,028	32,589	△ 561	△ 1.7	トラック事業での貨物取扱量の減少に加え、海運事業の減収により減収
不動産事業	19,312	17,822	1,489	8.4	賃貸事業で駐車場数が増加したことに加え、分譲マンションの引渡戸数の増加もあり増収
レジャー・サービス事業	12,817	12,983	△ 166	△ 1.3	ホテル事業は名鉄インの新規出店やインバウンド利用が好調で増収となったものの、観光施設事業や旅行事業の減収により全体では減収
流通事業	32,136	33,216	△ 1,080	△ 3.3	百貨店業での減収や石油販売価格の下落もあり減収
その他の事業	15,366	14,935	430	2.9	設備工事の受注増加などにより増収
調整額	△ 10,329	△ 10,262	△ 66	—	
合計	142,885	142,424	461	0.3	

営業利益	当第1四半期	前第1四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	6,803	6,338	464	7.3	増収に加え、燃料費の減少等もあり増益
運送事業	1,601	1,421	180	12.7	燃料費の減少により増益
不動産事業	2,320	2,280	39	1.7	増収による増益
レジャー・サービス事業	△ 58	66	△ 125	—	減収による収支悪化
流通事業	160	11	148	—	減収であったものの、駅店舗事業の増収が寄与し増益
その他の事業	19	25	△ 6	△ 26.1	航空事業における費用の増加により減益
調整額	180	160	19	—	
合計	11,026	10,306	720	7.0	



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期	前期末	増減額	コメント
流動資産	159,885	157,923	1,961	分譲土地建物の増加
固定資産	905,611	906,683	△ 1,071	
有形固定資産	776,601	774,198	2,403	設備投資による増加
無形固定資産	10,192	10,605	△ 413	
投資その他の資産	118,818	121,880	△ 3,062	保有上場株式の時価下落による投資有価証券の減少
資産合計	1,065,497	1,064,607	889	
流動負債	265,833	254,050	11,783	社債からの振替による1年以内償還社債の増加 長期借入金からの振替による短期借入金の増加 支払手形及び買掛金の減少
固定負債	482,497	497,009	△ 14,511	1年以内償還社債への振替 長期借入金の短期借入金への振替
負債合計	748,331	751,059	△ 2,728	
純資産合計	317,165	313,547	3,617	株主資本 +4,071 〔親会社株主に帰属する四半期純利益 +8,560〕 〔剰余金の配当 △4,597〕
負債純資産合計	1,065,497	1,064,607	889	
連結有利子負債合計	485,945	477,005	8,940	〔参考〕純有利子負債残高 465,360 (前期末比 +6,070)

個別運輸成績

◆輸送人員◆

(単位：千人、%)

輸送人員	当第1四半期	前第1四半期	増減率
定期外	30,243	29,695	1.8
定期	66,751	65,641	1.7
計	96,994	95,336	1.7

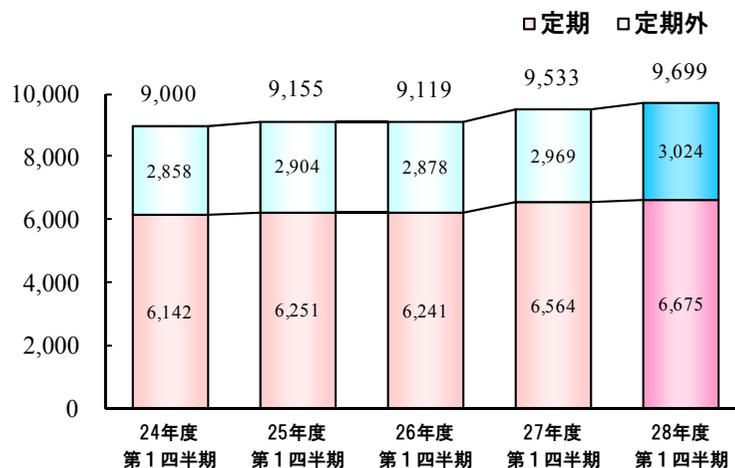
◆旅客収入◆

(単位：百万円、%)

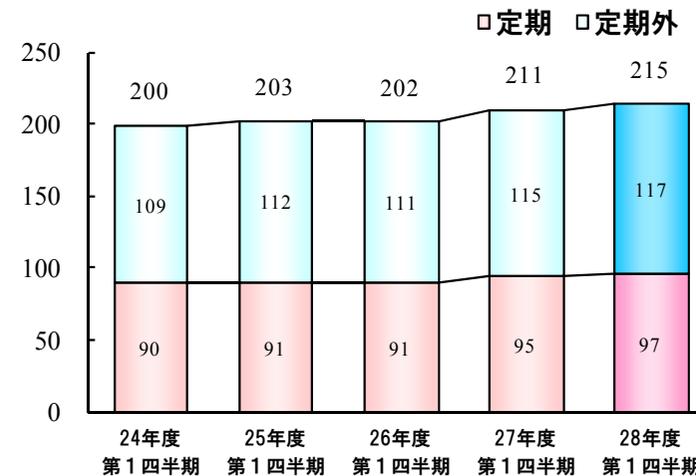
旅客収入	当第1四半期	前第1四半期	増減率
定期外	11,743	11,507	2.1
定期	9,764	9,596	1.8
計	21,508	21,103	1.9

(注)定期外旅客収入には特別車両料金を含む。

◆輸送人員の推移◆ (単位:万人)



◆旅客収入の推移◆ (単位:億円)



平成29年3月期 連結業績予想

※5月時点 ()は増減率 (単位:百万円、%)

	28年度 今回予想	前回予想 (※)	増減	(対前回予想)	27年度	増減
営業収益	611,000	614,000	△3,000 (△0.5)	流通 △1,700 レジャー・サービス △1,000 運送 △500 交通 △100 その他 △100 不動産 +100	610,153	847 (0.1)
営業利益	40,600	39,600	1,000 (2.5)	交通 +500 その他 +400 運送 +200 不動産 +100 流通 △200	44,864	△4,264 (△9.5)
経常利益	40,900	39,300	1,600 (4.1)	営業外収益 +100 営業外費用 △500	44,376	△3,476 (△7.8)
親会社株主に帰属する 当期純利益	21,900	21,100	800 (3.8)	特別利益 +200 特別損失 +100	24,532	△2,632 (△10.7)
設備投資額	49,700	49,700	—		49,364	336 (0.7)
減価償却費	39,000	39,000	—		38,913	87 (0.2)
純有利子負債	448,000	448,000	—	※純有利子負債：有利子負債－現預金・短期有価証券	459,289	△11,289 (△2.5)

前回予想（5月10日公表）比では、第1四半期実績を踏まえ、営業収益は、燃料価格が当初の想定を下回って推移したことによる石油販売事業などの流通事業を中心に減収を見込み、全体で減収。一方、営業利益は、第1四半期における交通事業、運送事業での燃料費の減少などを加味し、全体では増益。経常利益は、支払利息の減少等により増益となり、最終の当期純利益も、前回予想を上回る見通し。

連結經營指標 (PLAN123)

(※7月時点)

	26年度	27年度	28年度 予 想	29年度 中計目標
ROE (純利益/自己資本)	7.0%	8.7%	7.3%	7.5%
ROA (営業利益/総資産)	3.6%	4.2%	3.8%	3.5%
純有利子負債/ EBITDA倍率 (※)	6.2倍	5.5倍	5.6倍	6.0倍
株主資本比率	16.4%	18.1%	19.6%	20.0%

<参考>

DOE (配当総額/自己資本)	1.6%	1.6%	1.5%	1.5% ~2.0%
-----------------	------	------	------	---------------

※純有利子負債：有利子負債－現預金・短期有価証券
EBITDA：営業利益＋減価償却費



業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承下さい。

